

## 平成26年度瑞陵会総会・交流会

平成26年度総会・交流会は2014年8月24日（H）12時30分から約170名の参加者を得て、メルパルクNAGOYAで開催されました。今回の準備・運営の担当は24回生でした。

総会は一階の輝の間。司会は例年通り江副義彦副会長（16回）。開式の辞に続き、中村利雄会長が挨拶をされました。高額な工事費を費やした感喜堂の耐震改修工事が7月から始まったこと。感喜堂を残してくれた愛知県への感謝。その感喜堂に学習室を作って後輩の支援をすること。百周年のポプラシート事業のように後輩への支援を継続し、かつ同窓生の絆を深めるためにも財政基盤を安定させたいという内容でした。また、「還暦に親の立ち会う高齢化」なる川柳を紹介しながら、「若い」還暦学年世話役への謝意をされました。

第2部の交流会は2階瑞雲西の間。開会の言葉は一ノ瀬喜之副会長（18回）。吉沢雅之校長の挨拶、廣田健一氏（16回）・安島政実氏（18回）による関東瑞陵回の活動紹介の後、岡本信明顧問（22回）の乾杯の発声で交流会が始まりました。あちらこちらで講演会の内容「人を育てることの」大切さ、難しさも話題になっておりました。アトラクションとして石川一成（22回）・小崎彰（33回）両氏による和太鼓が披露され、恒例のお楽しみ抽選会の後、校歌を斉唱し、青木偉晃副会長（17回）の閉会挨拶でお開きになりました。

役員の皆様をはじめ準備・運営にかかわった皆様、有り難うございました。



### 記念講演 講演要旨はp.3に掲載

演題 「人を育てる」

講師 判治 誠吾（瑞12回）

大同メタル工業株式会社社長

### 〈主な経歴〉

- 1965年3月 慶応義塾大学法学部法律学科 卒業
- 1965年4月 大同メタル工業株式会社 入社
- 1995年6月 代表取締役社長
- 2005年6月 代表取締役社長 兼 最高経営責任者
- 2007年6月 代表取締役会長 兼 最高経営責任者



## 平成27年度瑞陵会 総会・記念講演・交流会のお知らせ

**日時** 平成27年8月23日（日） 12:00～（受付11:30）

**場所** メルパルク名古屋

名古屋市東区葵3-16-16（JR千種駅徒歩5分、地下鉄千種駅1番出口すぐ前）  
電話 052-937-3665

**会費** 5,000円 当日会場でお支払いください（平成24年3月卒の64回生以降の卒業生無料）

**日程** 12:00 瑞陵会総会（2階 平安の間）

記念講演（2階 平安の間）

講師 三宅 義三 名古屋大学名誉教授 愛知医科大学理事長（瑞陵12回）

演題 「闇があるから光がある」

13:30 交流会（2階 瑞雲西の間 ビュッフェ式）



会長挨拶

瑞陵会会長 中 村 利 雄  
(瑞17回)

元 愛・地球博(愛知万博) 事務総長  
現 日本商工会議所 専務理事

創立110周年記念事業の一環として保存を要望してきました感喜堂の耐震補強工事が完了しました。多額の県費を投入して完成したものであり、県当局の御配慮に心から感謝申し上げます。

同窓会としては、創立110周年記念事業としてこの感喜堂に間仕切りを施し、学習室を設置するとともに、快適な学習環境を整備するため、空調設備を設置することとし、加えて110周年記念式典、同窓会コーナーの設置等の事業を行うべく、一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金において募金活動を続けてまいりました。お陰様で27年6月末現在で約1100人の同窓生から2300万円の御寄付を頂きました。目標額の3400万円には未だ達していませんが、夏休み中に工

事を終える必要があることから既に工事を発注致しました。来たる9月14日には、県の耐震補強工事と合わせて完成式を行う予定です。御協力を頂きました各位に厚く御礼申し上げますとともに、引き続き同窓生各位へのお声掛けなど御支援を賜りますようお願い申し上げます。

この完成により在校生の学習環境が改善することはもとより、定時制の皆さんにも快適に給食を召し上がって頂けることとなります。また、同窓生も感喜堂の使用ができないか、勿論在校生の使用に支障がない場合に限りませんが、検討したいと思います。例えば、同窓生による講演会等を開催し、交流を広げ、絆を深める活動の場に活用できないかと思っています。こうしたことによって同窓会活動が活発化し絆が深まり、同窓会活動に参加することがより楽しくなるようにしたいと考えています。

最近母校やOBの活躍がマスコミ等で取り上げられることが多くなっているように思います。在校生や入学希望者にも大いに励みになるとともに、我々同窓生にとって大いなる誇りであり、喜ばしいことです。会員各位の一層の御活躍をお祈りしますとともに、同窓会活動へのより一層の御支援、御協力、御参加を期待しています。



着任のご挨拶

校長 新 井 忠

瑞陵会の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃から母校の教育活動に特段のご支援ご協力を賜り、心から感謝しております。

この度、先代の吉沢雅之校長先生の後を受け、第20代校長に着任いたしました新井です。愛知県立第五中学校の伝統を受け継いだ長い歴史のある本校での勤務を心から喜ぶとともに、日々感じる重責に身の引き締まる思いをしております。もとより浅学非才ではありますが、教職員や保護者の皆様と心をつなげて、全力を尽くし、本校の発展のために努力する所存です。

お陰様で、学校での教育活動につきましては、落ち着いた環境の中で、生徒達が学習に、そして部活動に励んでおります。これまでの本校の歴史と伝統を継承しつつ、職員

と力を合わせ、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康な人間の育成に努めてまいります。伝統を継承するとは、これまで連綿と続いてきたものに、新たな価値を付け加え、新しい生命力を吹き込むことでもあると考えています。そのためには校風や伝統を、自らを高めるものとして生かすとともに、さらに磨きをかけてあとに続く後輩たちへ引き継ぐことが必要です。

とはいっても、特別なことをするのではなく、自由・自主・自律の校風の下、切磋琢磨して学習や部活動、学校行事などに充実した毎日を過ごすことこそが大切であると思っています。そして、一人一人が可能性を大きく広げ、成長し社会に巣立っていくことが、結果として校風や伝統の継承につながると信じています。その意味でも、生徒が充実した高校生活を送り、豊かな人間性や高い能力を身につけ、各方面のリーダーとして活躍できるようになるために、学校として責任を持って教育活動にあたりたいと考えています。今後とも、本校の充実・発展のために、職員一同全力で取り組んで参りますので、中村会長様をはじめ、瑞陵会の皆様におかれましても、母校の後輩たちに対し、変わらぬ御支援を賜りますようお願いを申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

<p><b>司法書士グリーンフォーラム</b></p> <p>司法書士 林 勝 博 (瑞19回)</p> <p>〒458-0036 名古屋市緑区六田一丁目200番地 TEL.052-624-1885 FAX.052-621-1384</p>	<p>機械要素部品の総合商社 <b>株式会社 光商会</b></p> <p>取締役社長 吉 田 明 弘 (瑞13回)</p> <p>〒456-0052 名古屋市熱田区二番一丁目14-8 TEL.052-682-6211 FAX.052-671-0135 <a href="http://www.hkr-s.co.jp">http://www.hkr-s.co.jp</a></p>	<p><b>佐久間医院</b></p> <p>院 長 佐久間 修 三 (瑞19回)</p> <p>〒464-0811 名古屋市中千種区朝岡町2-1 TEL/FAX.052-781-0430</p>
--	--	--

平成26年度瑞陵会 記念講演 講演要旨

演題 「人を育てる」

講師 判治 誠吾 (瑞12回)

大同メタル工業株式会社社長 (経歴はp.1)

1 リーダー (経営者) としての姿勢

社長に就任した時代はバブル崩壊後であり、利益は少なく、暗く、自信をなくしていた。就任の挨拶で、我が社には2つの大きな財産がある。1つは“良いお客様”もう一つは“良い社員”である。そして、“夢 希望 挑戦”を我々のモットーに経営計画を社員の心の中に入るものとしてきた。1998年度～2003年度は『Bridge over troubled water』“明日にかけける橋”♪サイモンとガーファンクル♪、2004年度～2009年度は『Top of the world』“トップ オブ サワールド”♪カーペンターズ♪、現在2012年度～2017年度までの計画は、『Together To The Top』“ともに トップを 目指そう” テーマソングは♪ダイアナ ロス～If we hold on together～♪ として、海外の各地に根付くグローバルネットワーク (アジア、中国、日本、欧州、米国) を展開している。セルビア・モンテネグロにおける国営企業の民営化事業が提案されたが誰も手を出さない中、我が社だけが参加した。このように計画目標はわかりやすく、社員に自信を持ってやる気になる企業風土を築き、会社の発展のためには情勢を見極めた迅速な行動、決断を実践するなどリーダーとしてのあるべき姿を貴重なスライドに基づきご紹介していただきました。

2 「人を育てる」

部下から信頼されるリーダーを育てるために必要なことを23項目の要素に分類し講演されました。

- 1 考え方を示す 2 ほめる、しかる 3 熱意を評価する
- 4 能力を引き出す 5 耳を傾ける [良寛さんのうた]
- 6 仕事を任せる 7 自分より優秀な人材を育てる 8 率先垂範する [山本五十六]
- 9 「なぜ」を説明する 10 スピードが勝負 11 洞察力 12 実行力 13 気力 14 健康 15 包容力 16 あくまでも謙虚 17 好奇心 18 決断力 19 現場主義 [孫子、孟子の言葉] [開高健VS山本周五郎]
- 20 “創出型企業であれ” 21 “心”の層別 22 変化・変革させる [ゲッティ、チャールズ・ダーウィンの言葉]
- 23 ‘自律’ ‘自浄’ ‘自創’

限られた時間の中で、様々な分野の英知を織り交ぜ古今



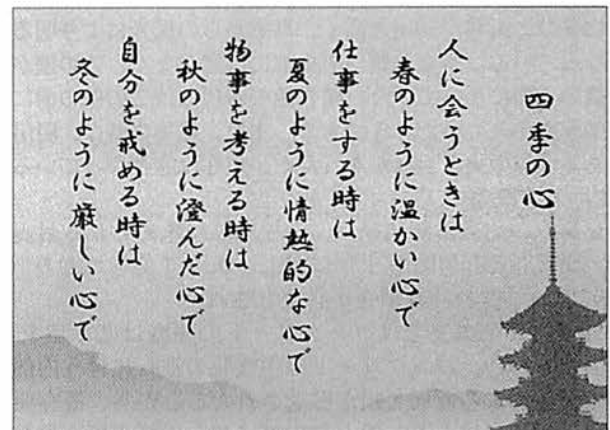
東西の先人たちの言葉を絶妙に引用し、ユーモアを交えながら「人を育てる」ということをテーマとした壮大なスケールのスペクトル映画を観ているような感覚で、時間を忘れてしまうほどの素晴らしい講演でした。

3 人生の総括と更なる飛躍

四十歳には「人生の総括」、五十歳には「五十毅然」、六十歳には「還暦に思う」と題してそれぞれの節目の心境を詩に残し、更なる飛躍への挑戦を続けられています。

講演での最終スライドとなった講師がお気に入りである「四季のこころ」を紹介して講演の要旨とさせていただきます。

「人に会うときは 春のように温かい心で  
 仕事をする時は 夏のように情熱的な心で  
 物事を考える時は 秋のように澄んだ心で  
 自分を戒める時は 冬のように厳しい心で」



<p>弁理士業務  <b>エール国際特許事務所</b></p> <p>弁理士 間 瀬 銈一郎                  (瑞11回)</p> <p>〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-7                  丸の内OSビル4F                  TEL.052-959-4520 FAX.052-959-4522</p>	<p>名古屋フランスcorp株式会社</p> <p>代表取締役 服 部 幸 三                  会長                  (瑞14回)</p> <p>〒470-0112 愛知県日進市藤枝町西外面16                  TEL.0561-73-4601 FAX.0561-75-4545                  http://www.nagoyafrance.co.jp</p>	<p>アワタ  <b>栗田敬八税理士事務所</b></p> <p>所 長 栗 田 敬 八                  (瑞19回)</p> <p>〒454-0911 名古屋市中川区野田1-193                  TEL.052-351-0251 FAX.052-352-8268</p>
---	---	---

**特集**

**感喜堂耐震改修と改装**

感喜堂（旧講堂）耐震改修の記録

瑞陵高校感喜堂（旧講堂・旧図書館）については、会報（2012～）にその歴史的価値、耐震改修工事に至る過程などが掲載されている。瑞陵会の陳情等により感喜堂が保全されたことは、会員諸氏には周知の通りであるが、県が2億円に近い経費をかけた耐震改修工事は2015年3月に終了した。一番喜んでいるのが、再び暖かい給食が食べられるようになった定時制の生徒諸君と、広くきれいになった給食室で働く調理員さんであると聞く。

瑞陵会は学校と相談し、一部を全日制生徒の学習室として使えるようにするため、県の工事とは別にスライディングウォールと空調設備を設置する工事を発注した。

今回は県が施した耐震改修工事の概要を報告するとともに、瑞陵会が依頼したスライディングウォールとエアコンの設置について、また、その後の使用方法について説明をする。

**1 耐震工事の記録**

(1) 旧講堂の概要

構 造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造平屋建  
 延 面 積：427.44㎡  
 建築面積：450.36㎡  
 設 計 者：愛知県建築部営繕課

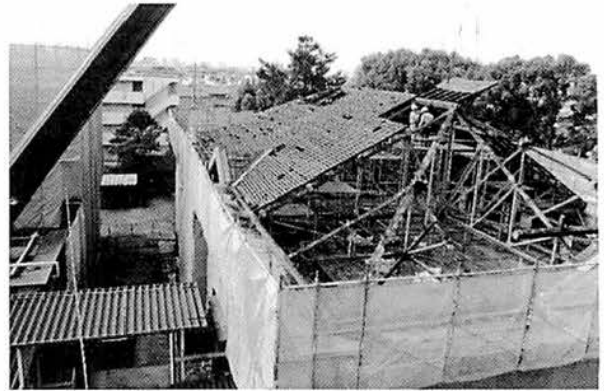
(2) 建物の特徴

- ・名古屋市内にある学校の講堂としては最古のもの。同時期のものとして愛知県立津島高等学校の講堂があり、非常によく似た外観をしている。
- ・大きくとった窓の間の縦長の細い壁を柱と見なし、その最上部に二本の横筋を入れ、柱頭飾りとしているところに、大正期の講堂らしさが見られる。
- ・寄棟造の屋根は木造とされてきたが、調査の結果、鉄骨造であることが判明した。鉄骨造の屋根は、キングポスト・トラス形式で、二つの山形鋼をリベットで合わせて斜材を造り、その隅をガセットプレートでそれぞれ緊結したものであった。（その一部が同窓会館に展示されている）
- ・内部は、天井が5.9mと高く、高窓からの採光により明るくなっている。講堂北側の中央部には窓がなく、この壁が講堂の正面になっていた。図書館の時代にはこの壁の前に書架が置かれていたようである。また、建築当時は、厨房のある南側中央にも扉があったが、現在は窓となっている。

(3) 工事概要

感喜堂の耐震診断結果は、学校施設に求められる耐震性能（耐震指標Is値0.7以上）に対し、大きく劣っており（Is値0.13）、外壁の詳細調査が必要とされた。

外壁の詳細調査ではコンクリートの強度は基準値を上回ったものの、コンクリートの中酸化の進行に伴う内部鉄筋の発錆による断面欠損が懸念されたことから、既存躯体の耐震補強ではなく、新たに内部に柱・梁等の構造体を設



けた耐震補強方法を採用し、外観の維持と耐震性能の確保を両立した。（補強後のIs値は0.706）新たな構造体となる柱の基礎部の杭には、屋内側からの施工を考慮して、施工ヤードが小さく、騒音・振動の小さい「先端羽根付き鋼製杭」を採用した。新設する屋根は既設と同じ寄せ棟造り日本瓦葺き（いぶし銀）とし、窓・扉の開口部は腐食の程度等による補修を行うことに留めて、従来の外観をそのまま維持する計画とした。壁面の色は当時の状況を勘案して明るいグレーの一色にした。

(4) 改修工事業者について

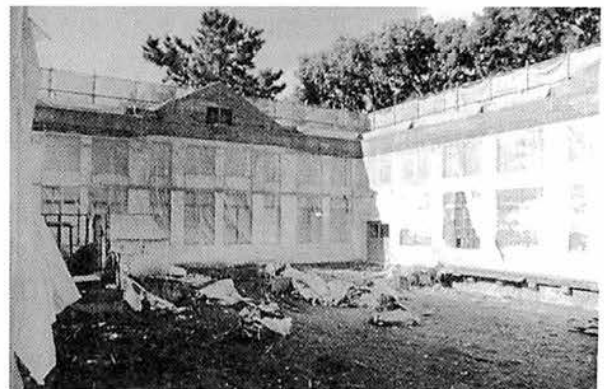
設計・工事管理者：株式会社岡本建築事務所  
 工事発注者：愛知県建設部建築局公共建築課  
 工事請負者： 建築工事：株式会社木津工務店  
 電気工事：鯉電気工業株式会社  
 管工事：宝工業株式会社

工 期：平成26年7月19日～平成27年2月20日

**2 改装工事**

瑞陵高校は定時制と教室を共有しているため、教室に残って学習することが出来なかった。5年程前から定時制の協力を得て、1階の教室では居残り学習ができるようになったが、教室を共有する2階の3年生は落ち着いて学習する場所がないままである。

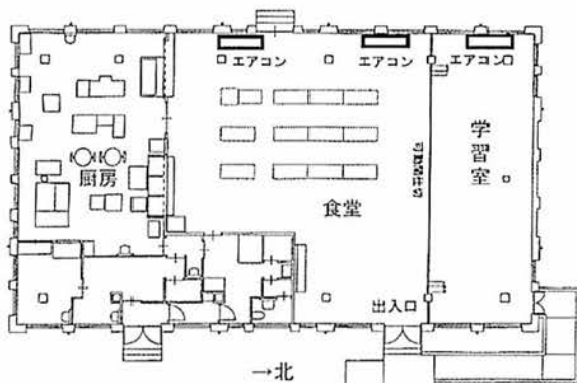
平成26年に入り感喜堂の保存と耐震改修が決定した。定



<p><b>滝山獣医科病院</b></p> <p>獣医学博士 滝 山 昭                  (瑞16回)</p> <p>〒458-0835 名古屋市緑区鳴海町上汐田220                  TEL.052-621-0179 FAX.052-621-2020</p>	<p><b>近藤産興株式会社</b></p> <p>代表取締役 近 藤 昌 三                  (瑞10回)</p> <p>〒457-0822 名古屋市南区浜田町1-10                  TEL.052-611-5561(代) FAX.052-611-5826</p>	<p>NC工作機械・工具の総合商社  <b>株式会社 新栄商会</b></p> <p>代表取締役 時 津 達 也                  社 長                  (瑞44回)</p> <p>〒468-0056 名古屋市天白区島田2-516                  TEL.052-801-1222(代) FAX.052-803-1321                  http://www.e-net-shinei.co.jp</p>
--	--	--



時制の学級減により給食室に少し余裕が生じたこともあり、110周年行事の一環としてスライディングウォールを設置し、北側1/4を生徒用の学習室とすることにした。



県はエアコンの寄付を受け付けていないので、教室のエアコン（PTA）と同様同窓会がリース方式で設置することとなった。このため約1千万円の予算が、13年間の契約を維持するため400万円ほどオーバーすることになった。しかし、平成27年6月現在2,300万円の浄財が集まっているので、この7月に工事の発注を行った。

あとは、同窓生の協力で目標額3,400万円以上の募金を集めて、リースの期間を安心して使えるようにするとともに、小ホールとしても使える機能を利用し同窓生の会合の場として積極的に活用することが望まれる。

建設工事：(株) 杉本組・(株) アーキテクト水野  
 設計：勅使河原設計事務所  
 空調工事：松本テクニコ株式会社  
 リース：東邦総合サービス株式会社  
 工事期間：7月21日（火）から8月21日（金）

### 3 感喜堂使用規定（案）（今後多少の変更もあり得る）

#### 第1条（目的）

この規定は感喜堂の使用に関する必要事項を定めることを目的とする。

#### 第2条（使用者の範囲）

- 1 感喜堂は、定時制給食室として使用することを最優先する。
- 2 定時制の給食の妨げにならない場合は、生徒、職員、PTA、同窓生、地域市民の活動の場として使用出来る。
- 3 地域市民の使用に関しては公的機関の申し出によるものとする。

#### 第3条（使用の許可）

感喜堂を使用する場合は、別紙様式による使用許可申請書を校長に提出し、使用許可を受けなければならない。同窓生、地域市民が使用する場合は瑞陵高校関係者の立会いを必要とする。

#### 第4条（使用料）

感喜堂の使用料は、別に定める。

#### 第5条（使用者の義務）

- 1 使用者はこの規定並びに校長の指示に従わなければならない。
- 2 使用者が前項の規定に違反した場合、校長は使用の停止または許可の取り消しをすることが出来る。

#### 第6条（使用者の責任）

- 1 上履きを使用し、利用後は清掃（机・椅子等の復元、ゴミの持ち帰り等）を行う。
- 2 給食時以外は原則飲食禁止とするが、使用目的によって校長がこれを判断し許可する。
- 3 エアコンの使用に関しては必要最小限とする。冬期はガスストーブを使用し経費節減に努める。

#### 第7条（使用の許可及び取り消し）

公益を害したり公共の秩序を乱したりするおそれのある場合、校長は使用拒否及び使用許可の取消しをすることが出来る。

#### 第8条（損害の弁償）

使用者が感喜堂使用中に建物やその他の備品等を損傷、または紛失したときは、その損害を弁償しなければならない。

#### 第9条（学習スペースの使用）

学習スペースの使用に関しては以下のことを遵守する。

- ① 授業日の、授業終了後から午後6時までとする。
- ② 長期休業中は、補習開講日の開講時から午後5時までとする。
- ③ 上履きを使用し、利用後は清掃をする。
- ④ エアコンの使用は必要最小限とする。
- ⑤ 手洗いは管理棟、教室棟のものを使用する。
- ⑥ 戸締まりは同窓会関係者、教頭、進路指導部、3年学年会等で行う。

附則 この規定は平成27年9月1日から実施する。

9月14日(月) 10:30より瑞光館（体育館）で完成式を行います。瑞陵高校・森までお問い合わせ下さい。

<p>生命保険・損害保険代理業  <b>株式会社エイチ・ケイ・コーポレーション</b>                  代表取締役社長 <b>加藤 秀雄</b>                  (瑞25回)                  〒352-0006 埼玉県新座市新座1-13-19                  TEL.048-485-1483 FAX.048-479-7701                  Email katochan@df6.so-net.ne.jp</p>	<p><b>てらかど動物病院</b>                  院長 獣医師 <b>寺門 俊博</b>                  (瑞45回)                  〒465-0087 名古屋市名東区名東本通5-19                  TEL.052-703-1101 FAX.052-703-1189                  http://www.terakado-ah.com</p>	<p><b>太子歯科医院</b>                  院長 <b>小森 敦夫</b>                  (瑞33回)                  〒458-0823 名古屋市緑区太子2-190                  TEL.052-623-1184 FAX.052-623-0799                  http://www.taishi-dental.com/</p>
--	---	--

五中・瑞陵史発掘

五中三九会の「杉浦桜」を守ろう

小野 茂勝 (五中39回)

はじめに

5月19日のこと。瑞陵会報担当の森先生からの電話で愕然とした。戦後70年の今年、杉浦桜について何か文章をという依頼であったが、「五中・三九会有志で植樹された杉浦桜がピンチ」とのこと。一瞬にして頭を28年前、昭和の最後の年まで遡らせたが、最早記憶の糸は薄れてたどたどしいものだった。

そもそも「杉浦桜」なるものは、終戦直前の昭和19年4月入学の五中39回生(当時県立熱田中学は通称五中)の中で、翌20年6月26日の米軍機空襲時に、母校五中山に掘られた防空壕で直撃弾爆死した戦没者第一号の杉浦堯(たかし)君、彼への鎮魂と平和を祈念して死後43年の昭和63年に同期生有志が正門脇に植樹した八重桜のことである。

杉浦桜の植樹式とその後

顧みるに28年前の昭和63年4月24日(日)は暖かい春の陽光に満開の八重桜が映えていた。集まった同期生は15名、杉浦君の母上・兄上に恩師も加わって植樹・贈呈式が行われた。この模様は同級の故市川鴻之祐が朝日新聞の記者だったので、朝日独占報道として翌日大々的に伝えられた。その写真では私が校歌斉唱のソングリーダーであった。しかし、私が改めて暗然としたのは、何とそこに参加した15名の同期生のうち12名が他界しているということだった。この28年間は私たちにとっても「失われた28年」であり、世の有為転変の儚さを痛切に感じた次第。

五中三九会の宿命

私達五中三九期生は、將に太平洋戦争の戦前・戦中・戦後の激動をまともに受けて、その大波に翻弄され続けた「時代の申し子」。小学校は1～3年が戦前の尋常小学校、4年生からは戦時色濃厚な国民学校、中学2年で終戦となり3年間の教育界大混迷を経て、中学5年時からはやっと戦後の新学制制度に転換して今日に至った。私たちは時の権力の奔流のまま流されつつも、この間権力への不信感や批判精神を自らの中に強力に培って来たのは言うまでもない。



杉浦桜の現状と対応

さて、本題に戻って杉浦桜の現状はどうなのか? この間私たちも殆ど忘れかけていたが、瑞陵高校は80年祭、100年祭と正門付近を立派に整備され、杉浦桜はすっかり影が薄くなっていただけでなく、いつの工事かは定かではないが、心ない工事関係者があの盛々たる桜の支幹や枝を無残に切り捨てていて、樹容は崩れ樹勢も乱れて大枝が枯れたまま放置されているという有様だったのである。伐るにしてもせめて造園の心得のある人に守ってほしかったと、今になって悔いの残る現状である。

去る7月4日(土)私は比較的元気なクラス会幹事3名の委託を受けて瑞陵高校を訪れ、現場を視察し担当の森先生とも協議。一応この樹も正常な管理下なら再生可能と判断し、周辺の整備や由来を示すプレートを新設し、この際呼称も単に「杉浦桜」ではなくこの植樹に関わった好漢市川鴻之祐ら十余名の慰霊の想いも込めて「五中三九桜」(杉浦桜)として保存したいと思った。

これからその予算措置を講ずるために再生関係費用を見積もり、改めて正式に幹事会の承認を得ることとした。また、同窓会からも支援をいただくことで合意して帰路についた。

おわりに

もう83～84歳になった私たち三九会員は、間もなく人生の暮引きである。こんな青春を送った先輩がいたことを、これからの瑞陵の後輩諸君にアピールする最後の奉仕事業だなど呟きながら帰宅した。その夜、奇しくもCBCテレビ「世界ふしぎ発見」で、あの先先輩「6千人の命のビザ・杉原千畝もう一つの真実」が放映されていた。

杉浦桜募金要領

上記の趣旨で「五中三九桜」(杉浦桜)として保存するための募金を募ります。

- 目標金額：20万円
- 振込先：郵便振替 00810-1-54300
- 加入者名：名古屋近代文学史研究会 代表 斎藤亮(あきら)
- 一口3,000円として、お気持ちのままにご協力ください。(氏名・卒回を記載)
- ※口座の代表斎藤亮さんは五中三九回の事務局です。新口座開設の手間を省きました。



<p>プレス金型と製造設備専用機械の設計製作など <b>ムツミ工業株式会社</b></p> <p>代表取締役 近藤 哲典 (瑞22回)</p> <p>〒462-0866 名古屋市北区瑞璃光町5-1 TEL.052-913-2111(代) FAX.052-913-2100 http://mutsumi-industry.co.jp</p>	<p><b>つばめ自動車株式会社</b></p> <p>代表取締役 天野 清美 社 長 (瑞17回)</p> <p>〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目21番17号 TEL.052-201-8031(代) FAX.052-201-8036 http://www.tsubame-taxi.or.jp</p>	<p><b>株式会社 アオキスーパー</b></p> <p>取締役 青木 偉晃 相談 役 (瑞17回)</p> <p>〒453-0054 名古屋市中村区鳥居西通一丁目1番地(本社) TEL.052-414-3600 FAX.052-414-3609 http://www.aokisuper.co.jp</p>
---	---	---

## 乱歩没後50年

## 江戸川乱歩を楽しむ

名古屋市鶴舞中央図書館長 早瀬弘親 (瑞27回)

27回生の早瀬弘親です。私は名古屋市職員で、本年4月1日、名古屋市鶴舞中央図書館長に就任しました。その鶴舞中央図書館で、わが母校の大先輩、江戸川乱歩(本名:平井太郎、五中1回)の企画展示を開催しました。しばし、皆様を「江戸川乱歩の世界」へご案内しましょう。案内役は、鶴舞中央図書館奉仕課奉仕第二係長の向田諭氏(司書職員)です。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

案内役の司書・向田です。

今年、平成27年(2015年)は江戸川乱歩の没後50年の節目の年です。そこで、名古屋市鶴舞中央図書館では平成27年1月17日から2月19日まで「没後50年江戸川乱歩」と題した本の企画展示を行いました。

展示開始前の平成26年12月14日読売新聞日曜版「名言巡礼」で江戸川乱歩が特集され、鶴舞中央図書館の展示も告知していただいたおかげか、乱歩の企画展示はたくさんの反響がありました。展示を見ていただいた方の多くは乱歩の本をお借りになり、江戸川乱歩という大作家の実力をまざまざと見せつけられた、そんな感触でした。



展示では乱歩の研究資料なども並べましたが、皆さまの関心が高かったのは、やはり乱歩の著書そのもの。

当館が所蔵する乱歩の一番古い小説本は、大正15年(1926年)刊行の『屋根裏の散歩者』(春陽堂)。

一番人気だったのは、講談社の『江戸川乱歩推理文庫』全65巻(1987~1989)。皆さまが読みたい作品はたいていこの『推理文庫』に収められています。表紙のイラストが著名なイラストレーター・天野喜孝氏の作で、何とも幻想的な雰囲気です。

また、このシリーズには「特別補巻」として、『貼雑年譜(はりまぜねんぷ)』が刊行されています。その概要について「編集あとがき」から少し引用すると「新聞、雑誌、パンフレット、チラシなどの切抜きや自筆の地図、家の間取図、さしえ、それに写真などが時間を追って貼込まれ、それを基本にすえながら祖父の代からの家族史・自分史を記述し」たものです。出版されたのはその複製版ですが、これはいかに乱歩の収集癖がすさまじいものかがよくわかる乱歩研究の第一級資料です。

収集癖といえば、江戸川乱歩は近世資料(江戸文学など)の収集も手掛けていました。その収集ぶりのお話を少し。

『国書総目録』(岩波書店、1976)は、古代から明治になる前の日本人の著作等書籍が日本のどこにあるか、全国の所蔵先をまとめたものです。試しに「西鶴跡追(さいかく

あとおい)」という資料名を引いてみると、所蔵は「京大・早大・江戸川乱歩」となっています(表記の一部略)。つまり、京都大学・早稲田大学・江戸川乱歩が所蔵している、とわかるのです。国立国会図書館を始めとして、規模の大きな図書館や大学・文庫などの記載に混じって「江戸川乱歩」の文字を見ると、いかに質の高い蔵書を持っていたかがよくわかります。

東京の立教大学に隣接する家に住んでいた乱歩。乱歩のコレクションは、現在は立教大学がその住居・書庫も含めて保存しています。インターネットの検索エンジンで「旧江戸川乱歩邸」と検索すると、立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センターのサイトがヒットします。ネット上で、乱歩の蔵書や住居内などが気軽に見ることができます。

蛇足ですが、『国書総目録』には個人の名前が他にも数人出てきます。その中でも、「尾崎久弥」の名前を多く見つけることができます。名古屋出身の国文学者・尾崎氏のコレクションは、現在、名古屋市蓬左文庫に引き継がれています。

展示した資料に戻しましょう。

江戸川乱歩と名古屋との関わりを考察した資料としては、小松史生子著『乱歩と名古屋』(風媒社、2007)がオススメです。サブタイトル「地方都市モダニズムと探偵小説原風景」が、この本のテーマをよく表していると思います。旧制愛知五中時代の江戸川乱歩については、『瑞陵会報2014』p6~8に掲載された三品耕作氏の論考「瑞陵と江戸川乱歩(五1回)―乱歩生誕120周年―」が詳細に伝えてくださっており、瑞陵会会員の皆様にはぜひ一読、再読していただきたいと思います。

あとは何といても「少年探偵団」。雑誌『少年倶楽部』(大日本雄弁会講談社)に昭和11年(1936年)に連載された「怪人二十面相」から始まり、今なお鶴舞中央図書館の児童コーナーには現役でシリーズが置いてあります。

ちなみに、平成26年(2014年)には乱歩生誕120周年記念プロジェクトとしてポプラ社からオマージュ小説『みんなの少年探偵団』シリーズが刊行されました。現代の人気小説家たちが、「少年探偵団」への想いを込めて書いたオマージュ小説のシリーズです。名古屋市図書館では、このシリーズは一般向け(大人対象)としています。

江戸川乱歩の小説・関連本を読むのはもちろんのこと、日々の生活、仕事、趣味などに役立つ本がたくさんある図書館にぜひお出でください。心よりお待ちしております。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

皆さん、いかがでしたか。名古屋市図書館では、企画展示をはじめ、子ども向けの「おはなし会」、お年寄りを対象にした「音読教室」、皆さんが知りたいことをお調べする「レファレンス事業」、「学校図書館の支援」などを実施しています。また、愛知県内に在住・在勤・在学の方は誰でも、本・雑誌・紙芝居・CD・DVDなどをお借りいただけます。名古屋市立の21図書館のどこでもお借りいただけ、どこでもお返しいただくことができます。

一度、図書館にお出かけいただき、「名古屋市立図書館共通貸出券」をお持ちでない方は、この機会にぜひお作りください。身分を証明するものがあれば、その場ですぐ発行します。

また、わが母校のある瑞穂区の瑞穂図書館が、移転改築(瑞穂区豊岡通三丁目29)し、7月10日にオープンしました。母校を訪ねたおりにでも、ぜひ足を伸ばしてみてください。

最後に、鶴舞中央図書館長室に飾ってあるノーベル物理学賞受賞の益川敏英博士の言葉を紹介します。

「本の向こうには、知らない世界がある」

## 「絶滅種クラブ」ホッケー部の思い出

大河内 信夫 (瑞19回)

はじめに

瑞陵高校ホッケー部の創設記録は手元にないので判らないが、1993(平成5)年に廃部してしまったようである(卒業アルバムの部活写真にホッケー部が消えた年)。愛知県に4校しかない稀少な運動部が無くなってしまったのは非常に寂しい。汗にまみれた青春の一ページに情熱をかけた存在がなくなったことは、高校生活の思い出にポッカリと穴があいた気持ちである。

同期の同窓会幹事からホッケー部の思い出を依頼され、青春の1ページを刻んだ記憶を残したいと思い私の知る限りでの資料をもとに筆を執ることにした。これを執筆するにあたり、同窓会に保管されている雑誌「瑞窓」を閲覧させてもらい資料として利用させていただいた。瑞陵会事務局を担当されていた瑞陵高校の森重統先生の協力を得た。まず記して謝意を表したい。

ご存じのように雑誌「瑞窓」は、毎年、年度末に発行されている。この中に各部活の報告が記載されている。ここにあるホッケー部の歴史を顧みて、青春の思い出を記録しておこうと思う。同窓会に保管されている「瑞窓」には一部欠号があったのですべて整った記録になっていないことをお断りしておきたい。

あこがれのインターハイ出場

「瑞窓」1号(1955年2月発行)にはすでに試合結果の報告が記載されていた。当時、インターハイの記録はなく、国体予選の結果が記録されていた。対戦チームも向陽高校のみであった。その記述のなかに「瑞陵伝統のホッケー精神に基づいて」とか、敗戦について「先輩諸氏に申し訳ない」といった記述があるところを見ると、これ以前からホッケー部が存在していたことが判る。

手元にある「瑞窓」の記述からホッケー部が最初に全国大会出場を果たしたのは1960(昭和35)年全国高校ホッケー選手権大会(インターハイ)(平塚市)で、準々決勝(ベスト16)まで進出し、慶応高(東京)に敗れている。さらに1961(昭和36)年もインターハイ(岡山県井原市)に出場しているが、このときは1回戦で敗れた。

1964(昭和39)年のインターハイ出場(愛知大会)では、2回戦慶応志木高(埼玉)、3回戦大谷高(京都)を破り、準々決勝まで進出し、ベスト16にまで勝ち進んだ時であった(残念ながら筆者はこの時まで入部していなかった)。

翌年、インターハイ県予選2位で出場は可能と協会から助言されたが、1位でないことを理由に残念ながら出場出来なかった。過去の記録を振り返ると1960年、1961年のインターハイ出場はどちらも県予選2位であったことを知って無念という思いが再びこみ上げてきた。高校の運動部にとって(とくにマイナースポーツの部活では)インターハイは大きな目標であるのだから。

ところが1970年代初めには、4年連続インターハイに出場していると記述されている(「瑞窓」20号、1974年3月発行)。残念ながら試合結果は書かれていないので出場の順位はさだかではないのだが。

部員不足とホッケー部存在高校の少なさ

「瑞窓」の部活紹介の記事を見ると、常に部員の少なさを訴える記述が多い。マイナースポーツの弱いところではあるが、全国的にも社会人、大学のクラブが少ないことは否めない。しかも予選を勝ち抜いてのオリンピック出場経験もなく、認知度が際立って低いことは、高校スポーツにとっても部員獲得が進まない一因であったことだろう。毎

年、「瑞窓」には涙ぐましい入部の呼びかけがされ、ホッケーの歴史を語って呼びかけている記述があった。曰く、「ホッケーはイギリスにはじまり、わが国には1906年にアイルランド人のウイリアム・グレー牧師が慶應大学で指導したのがはじまりである」(「瑞窓」23号1977年3月)と。

さらに愛知県内にホッケー部がある高校が少なくなっていることも認知度を低くする要因でもある。1960年代初めには5校あったが、1974年3月発行の「瑞窓」20号では3校になっていると書かれていた。筆者が在籍していた1965年には県立愛知商業高(愛商高)はすでに廃部して県大会に参加していなかった記憶がある。愛商高は瑞陵高とは縁のある高校である意味、ホッケー部は兄弟のような関係にある。戦後の教育改革で愛知県は1948(昭和23)年普通課程と職業課程を1つの高校に統合する総合制高校が連合軍総司令部のもとに強力に行われ、愛商高は熱田中学ほか2校と瑞陵高校となった経緯があり、その後、産業教育振興法の施行により、1951(昭和26)年愛商高が独立した経緯がある。商業課程が独立して愛知商業高校となった時にホッケー部も2つに分かれたようであるが、どちらの高校もホッケー部が廃部してしまったので経緯は判らなくなってしまった。

その後、1974(昭和49)年には3校にまで減り、1993(平成5)年瑞陵高が廃部してしまった。しかし、2015(平成27)年の高校総体県予選の結果にある学校名は、向陽高、愛知産業大学工業高、名古屋国際高、名古屋工業高の4校となっていた。参加校が様変わりしたものである。

そして青春の思い出

少し個人的な体験を話題にしよう。

私が在籍していた1964-1966年度には汗臭い汚い練習着がトレードマークとなっていた。同級生と高校時代の部活の思い出を語る時「くさい」「きたない」が話題となっていた。今ではとてもあの臭いと感触には堪えられないが、当時はまさにほじける若さの象徴であった心地よい思い出である。

狭いグラウンドに多くの運動部が活動していたあの頃、ホッケー部はラグビー部と直角に交わるような関係で練習をしていた。このため、フォーメーション練習をしようとするとすぐ脇をラグビー部が走り抜けていくため危ない思いをしていた。一方、ラグビー部にとってもホッケー部の返球が足にあたり痛い思いをしていたと思う。お互い大きなけがに繋がらなかったことは幸いであった。

3年生が引退した11月ころであったと思う。体がだるくて部活をサボって早く帰るため瑞穂通3丁目のバス停にいたところ、3年生の先輩と出くわしてしまった(当時、瑞陵へ通う多くの生徒が瑞穂通3丁目電停(市電)、バス停を利用していた)。マズイと思いながらも帰ると決めていたのでそしらぬ振りをしていたところ「オイ、部活は?」と声を掛けられてしまった。バス停まで来てしまっているのに引込みが着かず、苦笑いしてそのままバスに乗り込み帰宅したのであった。翌日部活に出ると、なんとその先輩が部室にいて練習着に着替えているではないか。彼はニヤと笑って練習に参加するではないか。「なんで引退したのに」と思いながらも次に起こる事態に覚悟を決めて練習に参加したのであったが、なにもおこらなかった。当時の雰囲気であれば「しごき」が待っていたのが当然であるが、何事も起こらず練習が終了した時の印象がいまだに強く残っている。この時、人の非の責めるに懲らしめだけではないことを学んだような気がした。

我々が活動していた時期の試合着(ユニホーム)はなぜかウール製であった。高校ホッケーは春から秋がシーズンであり、とくに総体予選の時期(初夏)には、ウール製のユニホームは現代風に言えば「ダイエット着」みたいなも



のでとにかく「クソ暑い」しろものであった。当時の試合ルールでは選手交代が認められておらず、暑さで倒れても「退場者」を一人出したのと同じ扱いだった。筆者はこの暑いユニホームと給水が取れない（当時は水を飲むことはタブーだった）ので試合中によく「足がつって」チームメイトに迷惑をかけたことが印象に残っている。

部員募集に苦勞していたことを前述した。2年のときだったと思うが、起死回生のインパクトのあるポスターを作ろうと思い、赤と黒地のバックに白のシルエットでキーパーとフィールドプレイヤーをあしらった斬新（と、本人

は自負していた）なものであったが、凝りすぎていて1枚しか作れず（現代のようにコピー機がまだなかった）、話題にもならなかった。結局、本人の意気込みとは関係なく、効果のほどは判らずじまいであった。

実家の倉庫にはいまでもスティックが大切に保存してある。いつの日か瑞陵高にホッケー部が復活するときにはこれを引っ提げてはせ参じたいのだが、脚力が心許ない歳になってしまった。それにしても高校時代にホッケーというマイナーなスポーツに情熱を打ち込めたことは貴重な体験であり、高校生活の良き思い出となった。

## ミュージカル『SEMPO』

齊藤美枝 (瑞57回)

このたび縁あってミュージカル『SEMPO 日本のシンドラ-杉原千畝物語』(2013年9月 東京・新国立劇場)を観劇した。私は恥ずかしながら瑞陵高校に入学するまで先輩である杉原千畝さんのことを知らなかった。入学後のオリエンテーションでその名を知り、以降、本を読んだり、テレビドラマを見たりして学んだ。今回、高校生時代から大変お世話になっている西郷先生のお誘いにてこのミュージカルを観劇する機会をいただき、よりいっそう杉原さんに対して理解を深めると同時に、同じ高校の卒業生として人となりを感じることができた。

観劇の際には私、西郷先生、同級生で友人の寺澤英里さん、そして瑞陵高校の先輩であり日本テレビ系の会社でディレクターとして活躍されている金澤知子さんとご一緒させていただき、とても楽しい時間を過ごすことができた。

杉原さんの物語とミュージカルの組み合わせとどのどのような作品になっているのか観劇前は想像がつかなかったが、音楽とストーリーを融合させた演出が杉原さんの生きた時代や彼の思いを伝えるのにとってもマッチしていると感じた。私はミュージカルというものの自体がほとんど初体験だったが、すぐに話に引き込まれ、とても楽しむことができた。主役の吉川晃司さんは大らかだが自分の信念を待った佇まいで、立っているだけで杉原千畝その人という感じがした。また、助けられるユダヤの民衆役や杉原の家族・部下役など出演者それぞれ脇役にいたるまで個性ゆたかで、演技も歌も素晴らしかった。特に話の中盤～終盤にかけてではキャスト全員の迫力のある歌声が劇場全体に響き渡り、物語をさらに一層盛り上げていた。そのストーリーはもちろんのこと心に訴えかけるような歌声で、感動で胸がいっぱいになってしまった。杉原さんの功績はもちろん知っていたが、改めて生の演劇というかたちで見ることで、自分もその時代にいるような臨場感を味わい、登場人物それぞれの思いをリアルに感じる事ができ、ビザ発行における杉原さんの葛藤や決意などもより深く伝わってきてとてもよかった。



左から齊藤、寺澤さん、マルシアさん、西郷先生、金澤さん

終演後、杉原千畝さんの長男の奥様である美智さんにご挨拶させていただいた。上品なかたで初対面の私たちにとっても親切にいただき嬉しかった。たった今見てきた舞台から自分が受けた感銘を伝えたかったが、その時は胸がいっぱいで「とても感動しました」というありきたりな言葉で感想を伝えることしかできなかった。

その後、金澤さんのご紹介でミュージカル出演者のマルシアさんとお会いし、一緒に写真も撮っていただいた。舞台の上にいるマルシアさんは歌声も素晴らしく、役者としてのオーラがあったが、実際にお会いしたマルシアさんはとてもノリがよく気さくな方で、私たちにもフレンドリーに接してくれたのが印象的だった。

観劇後は皆で夕食を食べ、その際、テレビ番組のディレクターである金澤さんのお仕事について大変興味深いお話を伺うなど、同じ高校の卒業生同士として親交を深めることができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。

今回、たくさん貴重な体験が一度にでき、非常に充実した一日であった。誘っていただいた西郷先生には感謝したい。と、同時に私自身も瑞陵高校の先輩として後輩に何か伝えられるような人間になれるよう、日々精進していきたい、と思っている。

(本稿は昨年発行の会報の原稿としていただいていたのですが、手違いで掲載が一年遅れてしまいました。この場を借りてお詫びいたします。)

<p><b>瑞陵会会長</b></p> <p>中村利雄</p> <p>(瑞17回)</p> <p>日本商工会議所・東京商工会議所専務理事</p> <p>〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2</p>	<p>施設管理支援・情報管理支援・文化財事業</p> <p><b>ナカシャクリエイティブ株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 山口 寛</p> <p>(瑞37回)</p> <p>〒468-8533 名古屋市中天白区井の森町205</p> <p>TEL.052-895-1131 FAX.052-895-1844</p> <p>http://www.nakashaco.jp</p>	<p><b>原稿募集のご案内</b></p> <p>編集委員会では、「五中・瑞陵史発掘」シリーズの原稿を求めています。事件、出来事、卒業生の活躍、学校行事、生徒会活動、クラブ活動などについて書いていただける方、資料を提供していただける方はふるってご寄稿ください。また、推薦していただける方があれば、その情報も編集委員会にお知らせください。</p> <p>編集責任者：浜島昭二 (瑞19回)</p> <p>shoji.hamajima@gmail.com</p>
---	---	--

平成27年度瑞陵会親睦ゴルフコンペの御報告

瑞陵会親睦委員会ゴルフ幹事 木村 鍾 治 (瑞18回)

時下 皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

瑞陵会ゴルフ幹事の木村です。毎年、前年の秋と本年春に行われた2回の親睦会ゴルフコンペの結果等についてご報告申し上げておりましたが、今年の春については幹事の個人的都合により延期とさせて頂きました。ご期待をされていた方には大変ご迷惑をお掛けしましたこと、本紙面をお借りして深くお詫び申し上げます。

今回は昨年(平成26年)10月15日に実施した第22回コンペのみの結果をご報告します。参加者は22名(男性17、女性5)という状況でした。参加されている卒業期は5回生から20回生となっています。

私がゴルフ幹事をさせて頂いてから、既に今年で8年目となり14回のコンペを計画実施してまいりました。この報告書も今年で7回目となります。現在会員数は60名程となっています。第22回コンペでは新しく16回生の竹原功様、20回生の齊藤純司様が参加されました。また、遠方関東瑞陵会から19回生の稲葉賢治様にも参加して頂きコンペを盛り上げて頂きました。稲葉様には過去何度も参加して頂き感謝申し上げます。昨年度のご報告で、参加する卒業期に偏りが生じていることを書きましたが、幹事が卒業期18回生ということで18回生の参加者が半数近くを占めておりますが、このお陰で20名前後のコンペが出来ることに対し同期生の有難さを感じている次第です。

話は変わりますが、平成29年に瑞陵会として110周年の記念行事が計画されています。これと併せて執行部の方から、親睦委員会に対し110周年の記念ゴルフコンペの計画を打診されました。現在のところ全く手を付けておりませんが、執行部との調整を図りつつ、本年度末(平成28年3月)を目途に素案を作成したいと考えております。果たして何人の方が参加して頂けるのか楽しみです。

このご報告は、ゴルフをされている方、過去何度かゴルフをされてゴルフがある程度どの様なものかを知っておられる方を対象に書いております。全くゴルフをされない方は、何を言っているのか分からないと思いますし、恐らくこの記事を見ることも無いでしょう。読んでつまらないと思います。

前回のご報告で「ゴルフだよ人生は」という事を述べま

したが、私がゴルフを始めた頃はそんなことは全く考えていませんでした。この言葉がある人から聞いた時、1打1打を人生の結節と考えると中々のもので、結構楽しく思え益々ゴルフの面白さにはまっていきました。ナイスショットをした時の爽快感、ミスショットをした時の悔しさ、人生の喜怒哀楽を感じます。人生常にフェアウエイを闊歩できるような順風満帆ばかりではありません。必ずトラブルがつきものです。ステディに安全策を取るか、或いは起死回生の一発を狙ってショットをするかは、その人の性格、経験、実力などをその人自身が判断して選択するわけですから、これまた人生そのものだと私は思います。ナイスリカバリーショットで再びフェアウエイを闊歩できるか、さらなるトラブルに直面するか、運に任せるのもゴルフの醍醐味です。ゴルフは自然が相手だと言う人がいます。まさにその通りだと思います。人生も自然相手です。そこには運、不運が存在していると思います。ただ絶対とは言えませんが、往々にして努力した者が報われることが多いのでは・・・? 中には要領の良い者もいるようですが・・・?

やはりゴルフの練習は怠りなくやるべきかと思えます。

最後に、前回の報告にも出てきましたイギリスのゴルフ評論家ヘンリー・ロングハーストの言葉を借ります。

「ゴルフを見れば見るほど、私は人生を思う。」

いや、人生を見れば見るほど、私はゴルフを思う。」

以上

試合は新ペリア(ダブルペリア)方式で実施、結果は次の通りです(敬称略)

22回コンペ (H26・10・15)		
	氏 名	卒業期
優 勝	土 屋 頼 信	18回
準優勝	木 全 良 和	18回
3 位	齊 藤 二 郎	13回
5 位	濱 田 堯	15回
7 位	石 村 一 郎	20回
10 位	岡 本 勝 代	15回

※第23回コンペは10月初旬「さなげカントリークラブ」を計画しています。

幹事連絡先：携帯 090-4850-1392 ㊚052-205-6321

e-mail kimurashouji0601@yahoo.co.jp

瑞陵会 会則

(平成26年改正)

第1条 本会は瑞陵会と称す。

第2条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会は愛知県立第五中学校、愛知県熱田中学校、愛知県熱田第二中学校、愛知県実務女学校、愛知県女子商工学校、愛知県貿易商業学校、愛知県立瑞陵高等学校卒業生を会員とし、母校現職員および旧職員を客員とする。但し、中途転校者等かつて在籍した者も希望すれば役員会の承認を得て会員とすることができる。

第4条 本会に次の役員および期別幹事を置く。

- (1) 名誉会長 1名 現職学校長
- (2) 会 長 1名
- (3) 副 会 長 若干名
- (4) 常任幹事 若干名
- (5) 総 務 2名 瑞陵高校現職員から選出する。
- (6) 会計管理 3名 うち1名は瑞陵高校事務職員

とする

(7) 監 査 2名

第5条 役員を選出と任期

- (1) 前条の役員は、総会で選出する。
- (2) 役員任期は2年とする。但し、再選は妨げない。
- (3) 前項に定める役員任期の始期は、改選年の定例総会開催の日の属する月の翌々月の初日からとする。
- (4) 役員が欠けたときには、役員会において選出、補充することができる。その場合は、総会で報告し、承認を得ることとする。

第6条 各役員の仕事は次のとおりとする。

- 会 長 本会を代表して会務を統括する。
- 副 会 長 会長を補佐し、会長に事故ある時はこれに代わる。
- 常任幹事 役員会を構成し審議する。
- 総 務 事務を管理する。
- 会計管理 会計を管理する。
- 監 査 会計を監査する。

第7条 名誉顧問および顧問

- (1) 名誉顧問は、歴代会長及び同窓会に顕著な功績のあった方から、総会の議決を経て会長が委嘱する。
- (2) 顧問は、経済界、学会、法曹界、教育界、スポーツ界など各種分野の著名人で、同窓会を支えていただけの方から、総会の議決を経て会長が委嘱する。
- (3) 名誉顧問および顧問は、会長の諮問に応じ助言する。

第8条 期別幹事

- (1) 期別幹事は、年次ごとに若干名を置き、各年次の取りまとめ及び本会との連絡調整などの任務を行う。
- (2) 期別幹事は、役員会の推薦を経て会長が委嘱する。
- (3) 期別幹事の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

第9条 本会はその目的達成のため、次の会合および毎年1回交流会を開く。

- (1) 総会 定例総会は毎年1回開催し、臨時総会は役員会で必要と認められた時にこれを開催し、①会則の改正、②役員選出、③その他必要事項について審議する。
- (2) 役員会 第4条の役員で構成し、①総会に付議する事項、②会務および会計、③専門委員会の承認、その他必要事項を審議し、会務を処理する。

第10条 議決はすべて出席員の過半数によって定められる。

第11条(1) 会長は役員会の議決を経て各種専門委員会を置くことができる。(a. 総会実行委員会、b. 親睦委員会、c. 会報委員会、d. その他)

- (2) 専門委員会の委員長は役員から充て、委員は役員会の推薦を経て会長が委嘱する。

第12条 庶務

- (1) 庶務は若干名を置き、瑞陵高校現職員及び旧職員のうちから会長が委嘱する。
- (2) 庶務は、本会の事務を処理する。

第13条 本会の経費は次の収入をもってこれに充てる。

- (1) 入会金 3,000円とする。
- (2) 賛助会費 一口5,000円(5年分)以上とする。
- (3) 広告料、交流会費、その他の収入

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第15条 本会の事務局を瑞陵高等学校内に置く。

第16条 会員多数の地には、総会の承認を得て支部を設けることができる。

第17条 本会則は、総会の議決を経なければ改正することはできない。

第18条 本会則に定めない事項は、役員会の審議を経てこれを決定する。

付 則 この改正規定は、平成24年度から施行する。

但し、平成24年度総会の準備、賛助会員の募集、会報の準備など、会長が必要と認める事項は、平成24年1月31日以降、専門委員会準備会を設置し、準備を進めることができる。

平成26年4月1日改正附則

付則1 改正規定は、平成26年4月1日から施行する。

付則2 平成26年3月31日現に役員である者の任期は、第5条(2)の規定にかかわらず、同年の定例総会の属する月の翌月の末日までとする。

平成26・27年度 役員一覧

1. 名誉会長	新井 忠 (校長)	常任幹事	片山 真紀 (瑞17)	常任幹事	中川真理子 (瑞25)
2. 名誉顧問	鳥居 大 (五37)		水野 達郎 (瑞17)		大 路 弘 (瑞25)
	高木 修 (瑞5)		安島 政実 (瑞18)		中根 卓郎 (瑞25)
3. 顧 問	判治 誠吾 (瑞12)		木村 鍾治 (瑞18)		岩田 隆 (瑞26)
	齊藤 二郎 (瑞13)		木下 道子 (瑞19)		西郷 孝 (瑞27)
	伊神 勝彦 (瑞15)		栗田 真砂 (瑞20)		鈴木 英利 (瑞27)
	加藤 正躬 (瑞17)		寺田 志郎 (瑞20)		早瀬 弘親 (瑞27)
	久田 宗弘 (瑞17)		濱島誠一朗 (瑞20)		若松 文彦 (瑞27)
	掛斐 敏夫 (瑞19)		森 重統 (瑞20)		田中 健二 (瑞28)
	錫村 明生 (瑞20)		澤田 耕一 (瑞21)		富屋誠一郎 (瑞28)
	岡本 信明 (瑞22)		秋田真希子 (瑞21)		青山 和暁 (瑞29)
4. 会 長	中村 利雄 (瑞17)		木村 恵子 (瑞21)		古橋 成彦 (瑞29)
5. 副 会 長	濱田 堯 (瑞15)		柴田 達男 (瑞21)		石原 広道 (瑞29)
	荒木 郷兵 (瑞16)		神谷 彰彦 (瑞22)		上林 公子 (瑞29)
	江副 嘉彦 (瑞16)		鬼頭 誠 (瑞22)		玉山 哲郎 (瑞30)
	青木 偉晃 (瑞17)		鬼頭 恵子 (瑞22)		山口 寛 (瑞37)
	天野 清美 (瑞17)		近藤 哲典 (瑞22)		佐藤 成俊 (瑞38)
	一ノ瀬喜之 (瑞18)		成田 龍一 (瑞23)		野間 巖 (瑞39)
	浜島 昭二 (瑞19)		松尾 知之 (瑞23)		近藤 茂弘 (瑞42)
	佐合 広利 (瑞20)		下岡 和美 (瑞23)	7. 総 務	牛田 守 (教頭)
6. 常任幹事	武藤 正男 (瑞定6)		上杉 修平 (瑞24)		篠原 昇 (教頭)
	坂東 信吾 (瑞13)		渡邊 正詞 (瑞24)	8. 会計管理	福島 一雄 (事務長)
	稲田 萬吉 (瑞14)		鈴木 克彦 (瑞24)	9. 監 査	石川 治志 (教頭)
	滝山 昭 (瑞16)		朝倉 隆司 (瑞25)		三浦チエ子 (瑞5)
	石橋 畝 (瑞17)		天鷲 操子 (瑞25)		

平成26年度ポプラシート報告

第1回「錦秋名古屋顔見世」鑑賞  
日本特殊陶業市民会館 平成26年10月18日 瑞陵生45名、他校生5名

第2回「吉例顔見世興行」  
京都・南座 平成26年12月7日 瑞陵生30名 交通費は濱島事業で支出

# 瑞 陵 会 報

## 平成26年度 瑞陵会会計決算書

収入済額 5,661,375円 支出済額 2,685,146円  
 残額 2,976,229円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	残 額	摘 要
繰 入 金	1,962,500	1,059,500	△903,000	賛助会費会計から繰入
入 会 金	1,170,000	1,191,000	21,000	3,000円×386名
参 加 費	1,500,000	780,000	△720,000	総会参加費
広 告 収 入	400,000	345,900	△54,100	名刺広告収入等
雑 収 入	368	13,843	13,475	名簿販売、預金利息等
合 計	7,304,000	5,661,375	△1,642,625	

### 支出の部

項目	予算額	支出済額	残 額	摘 要
事 務 費	1,699,000	273,751	1,425,249	
報 償 費	550,000	80,000	470,000	表彰費等
報 酬 費	589,000	25,400	563,600	非常勤職員の報酬
通 信 費	310,000	102,118	207,882	郵便切手等
需 用 費	250,000	66,233	183,767	電気料・消耗品費等
会 議 費	250,000	28,924	221,076	
役 員 会	150,000	0	150,000	会議経費等
委 員 会	50,000	28,924	21,076	会議経費等
需 用 費	50,000	0	50,000	消耗品等
事 業 費	4,900,000	2,382,471	2,517,529	
交流会会場費	2,200,000	1,732,601	467,399	懇親費等
会 報 費	1,000,000	488,894	511,106	会報等印刷・送付費
学校支援事業	1,500,000	60,436	1,439,564	卒業記念葉書等
支部支援事業	200,000	100,540	99,460	関東瑞陵会支援
予 備 費	455,000	0	455,000	
合 計	7,304,000	2,685,146	4,618,854	

## 平成26年度 瑞陵会積立金会計決算書

収入済額 2,530,983円 支出済額 0円  
 残額 2,530,983円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	増減額	摘 要
繰 越 金	2,530,477	2,530,477	0	前年度から繰越
雑 収 入	523	506	△17	預金利息等
合 計	2,531,000	2,530,983	△17	

### 支出の部

項目	予算額	支出済額	残 額	摘 要
繰 出 金	0	0	0	

## 平成26年度 瑞陵会賛助会費会計決算書

収入済額 3,497,908円 支出済額 1,059,500円  
 残額 2,438,408円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	増減額	摘 要
繰 越 金	3,005,960	3,005,960	0	
賛 助 会 費	5,000,000	487,068	△4,512,932	72名
雑 収 入	1,000	4,880	3,880	錯誤の処理
合 計	8,006,960	3,497,908	△4,509,052	

### 支出の部

項目	予算額	支出済額	差 額	摘 要
繰 出 金	1,962,500	1,059,500	△903,000	瑞陵会会計へ繰出

\*平成26年度 瑞陵会ポプラシート事業  
 御園座・南座観劇 (10月・11月)  
 支出済額 498,580円 (準備金残額 169,582円)

## 平成27年度 瑞陵会会計予算書

収入予算額 8,106,000円 支出予算額 8,106,000円  
 差引額 0円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰 越 金	2,976,229	2,271,132	705,097	前年度から繰越
繰 入 金	2,059,500	1,962,500	97,000	賛助会費会計から繰入
入 会 金	1,170,000	1,170,000	0	3,000円×390名
参 加 費	1,500,000	1,500,000	0	総会参加者(300名)
広 告 収 入	400,000	400,000	0	名刺広告収入等
雑 収 入	271	368	△97	預金利息等
合 計	8,106,000	7,304,000	802,000	

### 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
事 務 費	1,800,000	1,699,000	101,000	
報 償 費	550,000	550,000	0	表彰費等
報 酬 費	600,000	589,000	11,000	非常勤職員の報酬
通 信 費	400,000	310,000	90,000	郵便切手等
需 用 費	250,000	250,000	0	電気料・消耗品費等
会 議 費	250,000	250,000	0	
役 員 会	150,000	150,000	0	会議経費等
委 員 会	50,000	50,000	0	会議経費等
需 用 費	50,000	50,000	0	消耗品等
事 業 費	5,400,000	4,900,000	500,000	
交流会費	2,200,000	2,200,000	0	総会・懇親費等
会 報 費	1,500,000	1,000,000	500,000	会報印刷・送付・基金寄附者
ポプラシート	500,000	0	500,000	平成28年まで
学校支援事業	1,000,000	1,500,000	△500,000	生徒向け学習環境整備
支部支援事業	200,000	200,000	0	関東瑞陵会支援
予 備 費	656,000	455,000	201,000	電気料・印刷料の繰上
合 計	8,106,000	7,304,000	802,000	

## 平成27年度 瑞陵会積立金会計予算書

収入予算額 2,531,500円 支出予算額 0円  
 差引額 2,531,500円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰 越 金	2,530,980	2,530,477	503	前年度から繰越
雑 収 入	520	523	△3	預金利息等
合 計	2,531,500	2,531,000	500	

### 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰 出 金	0	0	0	

## 平成27年度 瑞陵会賛助会費会計予算書

収入予算額 7,439,408円 支出予算額 2,059,500円  
 差引額 5,379,908円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰 越 金	2,438,408	3,005,960	△567,552	前年度から繰越
賛 助 会 費	5,000,000	5,000,000	0	目標1000名
雑 収 入	1,000	1,000	0	
合 計	7,439,408	8,006,960	△567,552	

### 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰 出 金	2,059,500	1,962,500	97,000	

\*平成27年度 瑞陵会ポプラシート事業  
 御園座観劇 (年2回) 同窓会本会計から繰入 500,000円  
 (準備金残額 669,582円)

瑞陵高校の近況

瑞陵進路セミナー（平成26年度）

1 進路セミナー

- ① 6月5日(火)「国際協力と地域研究」…日本とは違う世界を知る面白さ  
安藤 和雄先生 (25回生)  
京都大学 東南アジア研究所 准教授
- ② 6月20日(金)「宇宙物理学(私の歩んだ道)」  
村上 敏夫先生  
文部省宇宙研究所助教授、金沢大学名誉教授
- ③ 7月4日(火)「生命科学への招待」(研究者を目指すと言うこと)  
田上 英明先生  
名古屋市立大学 システム自然科学研究所准教授

2 キャリアガイダンス講師(卒業生のみ記載)

(1年生対象 10月23日)

- 医療関係 小早川雄介先生 (48回生 南生協病院医師)
- 法律関係 中島朋子先生  
(56回生 足立法律事務所 弁護士)
- 建築設計関係 山下富喜雄先生 (29回生 六合建設)

濱島誠一郎奨学事業報告(平成26年度)

濱島誠一郎氏(20回生)のご厚意により、廣瀬事業の国内事業を受け継ぐ形で平成22年設立されました。

1 バス旅行による研修

- ・幕末の京都を行く(寺田屋、角屋、旧岩倉邸、7月、44名)
- ・正倉院展(10月、36名)
- ・京都・南座での歌舞伎鑑賞(12月、30名、見学費用はポプラシートから支払)
- ・いざ、お伊勢参りへ(遷宮についての学習、3月、31名)
- ・京大ツアー(京大博物館と安藤先生のフィールドワーク、3月、40名)

2 博物館・美術館での研修

- ・縄文を知ろう(名古屋市博物館、12月、15名)
- ・華麗なるジャポニスム展見学(名古屋ポストン美術館 2月18日)
- ・名古屋市科学館プラネタリウム(2月、40名)

3 研修会・講習会への援助

知の探求講座2名、SSII事業参加・自主研究等3名

「一般財団法人瑞陵高校助成基金」について

1 第3回海外学習助成事業

見学先 「スミソニアン博物館群」ワシントンDC  
「メトロポリタン美術館」ニューヨーク  
日 程 3月21日(土)：セントレア発  
→22日：ワシントン着・滞在  
→24日：ニューヨーク着・滞在  
→28日(土)セントレア着

参加者 男子6名、女子6名

2 海外学習生徒派遣Challengingコース事業

募集人員 男子1名、女子1名  
内 容 平成27年度夏期休業中の4週間の授業体験及びホームステイ  
通 学 校 Queen Margaret College(女子)および Scots College(男子)  
ニュージーランド ウェリントン市

部活動の活躍(平成26年7月~27年7月まで)

26年度 全国大会

陸上競技部 全国高校総合体育大会(女子砲丸投、男子800m)  
棋道部 全国高等学校将棋選手権大会 団体戦出場  
文芸部 全国高等学校総合文化祭 文芸(散文)部門出場

26年度 35回名古屋市立県立高校体育大会

(男子総合 準優勝 女子総合 優勝)  
陸上部男子総合優勝、陸上部女子総合優勝、野球部優勝、水泳部男子総合4位、水泳部女子総合2位、サッカー部2位、バレーボール男子優勝、バレーボール部女子2位、剣道部男子団体優勝、卓球女子S3位、弓道女子個人2位

26年度 県高校総体等

陸上部 東海高校総体 男子800m優勝、女子砲丸投5位  
愛知県陸上競技選手権 女子砲丸投げ4位、円盤投げ7位、男子1500m7位  
愛知県高等学校新人大会 男子400m2位、男子4×400m3位、男子走幅跳4位 男子三段跳4位、男子4×100m5位  
東海高等学校新人大会 男子400m4位  
水泳部 県高校新人大会 女子100m背5位、女子200m個メ6位、女子200mバタ8位  
剣道部 県高校新人大会 男子個人5位  
弓道部 県高校新人大会 女子個人4位  
吹奏楽部 愛知県吹奏楽コンクール A編成の部 銀賞  
棋道部 東海三県将棋大会 団体リーグ戦 Bリーグ準優勝  
囲碁 東海地区高等学校囲碁選手権大会 男子個人5位  
文芸部 県高等学校文化連盟文芸専門部作品コンクール 短歌部門第2席  
家庭クラブ 26年度全国高校生ホームプロジェクトコンクール 学校賞

27年度 県高校総体等

陸上部 県高校総体 男子総合6位 男子800m優勝、男子100m優勝、男子三段跳3位・6位、男子8種競技4位、男子4×400mR3位、女子走高跳5位  
水泳部 県高校総体 男子100m、平400mメR、女子200m白、100m背、200m背、100mバタ(2名)、200mバタ 200m個メ(2名)、400m個メ、400mメR、400m白R、800m白R  
女子バレーボール部、ソフトボール部、弓道部(男子個人、女子団体)、なぎなた(個人)

平成27年度 全国大会 次の部が出場します。  
全国高校総合体育大会 7/29~8/2 和歌山県(近畿ブロック) 陸上競技部(男子100m、800m、三段跳び4×400mR、女子走り高跳)  
全国高校総合文化祭 7/28~8/1 滋賀県 囲碁部門(団体県代表の1名)、書道部門 女子1名

杉原ウィーク2015短歌大会(八百津町主催)  
人道大賞、愛賞、心賞、佳作(3名)受賞

大学入試状況 (過去3カ年)

	27年度入試	26年度入試	25年度入試		27年度入試	26年度入試	25年度入試		27年度入試	26年度入試	25年度入試
北海道大	1	4	4	三重大	12	5	14	日本大	3	6	11
東北大	1	1	0	京都大	2	1	2	愛知大	40	26	60
筑波大	2	1	1	大阪大	2	2	4	愛知医科大	7	7	4
千葉大	2	1	1	奈良女子大	0	0	2	愛知学院大	15	23	24
東京大	0	1	1	神戸大	3	3	0	愛知淑徳大	40	43	69
東京工業大	1	0	0	広島大	2	3	3	金城学院大	15	20	13
東京外国語大	0	1	0	愛知県立大	11	8	8	岡山女学園大	39	24	25
東京海洋大	0	1	1	名古屋市立大	10	8	15	中京大	62	101	23
東京芸術大	1	2	0	国公立大学計	148	143	143	豊田工業大	2	2	6
一橋大学	1	0	0					南山大	109	187	168
横浜国大	4	2	1	青山学院大	3	4	3	名古屋外大	12	22	22
富山大	3	1	0	慶応義塾大	5	0	6	名城大	120	70	95
金沢大	2	1	0	早稲田大	4	5	5	藤田保健衛生大	15	7	5
信州大	4	4	7	上智大	1	5	4	京都女子大	4	4	4
静岡大	10	5	5	明治大	25	23	20	立命館大	92	78	68
愛知教育大	13	14	14	法政大	12	7	7	同志社大	35	45	39
名古屋大	13	19	14	立教大	4	8	2	関西大	9	9	18
名古屋工業大	15	22	15	中央大	11	20	14	関西学院大	6	11	8
岐阜大	10	14	15	東京理科大	16	16	18	私立大学計	879	902	920

国公立医学部 (名古屋市大、福井大、琉球大、防衛医科大学校)

賛助会費募集

瑞陵会はネットワーク作りと財政再建が最大の課題です。卒業生の入会金だけでは事業の経費がまかなえず、財政の健全化が重要な課題となっております。

そこで、財政健全化のために平成12年から賛助会費を募ることにしました。5年分の年会費と考え賛助会費にご協力下さい。5年間会報を送らせていただきます。会報は瑞陵会ホームページでもご覧頂けますが、あなたの愛校心が瑞陵会の支えです。振り込み用紙の請求は瑞陵高校内瑞陵会事務局までどうぞ。(用紙がなければ、振込み手数料本会払いでも構いません)

賛助会費一口 5,000円 (一口以上でお願いします) 郵便振替 (口座番号00880-7-190740) 払込先 瑞陵会  
会報発送と名簿整理の都合上 〒・住所、氏名、回生 (卒業年度) をご記入下さい。

賛助会員名簿 平成26年8月～平成27年7月 ご協力ありがとうございます。

2 加藤 周	16 松井 和之	20 堀田 幸男	24 本田 清美	29 高橋 龍祐
4 田中 道彦	16 山田 和枝	24 牛田 寛治	24 本間 政美	31 太田 佳奈子
10 近藤 幸達	17 青木 偉晃	24 加藤 裕司	24 宮崎 志津恵	32 藤原 和徳
10 鬼頭 健郎	17 中村 利雄	24 岸田 潤一	24 牟田 裕美	36 川口 美穂
10 野村 隆人	19 掛斐 敏夫	24 小池 信一	24 矢野 兼男	37 富原 令子
12 立間 眞義	20 青山 茂徳	24 小島 幸子	24 山口 美穂	40 坪井 裕司
12 林 保夫	20 栗田 育孝	24 鈴木 かしゑ	27 犬飼 光一	41 高岸 秀和
12 水谷 詠子	20 佐合 広利	24 鈴木 信好	27 佐々木 菊一	41 田立 靖雄
13 大矢 功	20 佐藤 百合子	24 勅使 邦江	27 富田 恭子	60 青木 裕典
16 竹原 章夫	20 柴田 洋治郎	24 土田 恭子	29 石原 広道	62 大島 遙日
16 深谷 章夫	20 菱田 高光	24 永治 典久	29 上林 公子	定7 都築 友潤

一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金の説明と協力のお願い

瑞陵会は平成25年に「瑞陵高校への支援」(在校生の教育活動の充実)「卒業生の同窓会活動の活性化」等に寄与することを目的として「一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金」を設立しました。

現在は、以下にお示しする「創立110周年記念事業」の計画を実現するために募金活動を行っております。

- (1) 感喜堂に学習室をつくります。(2,600万円・机椅子等を含む)  
定時制の給食室として利用されている感喜堂に、今年耐震改修工事が行われました。これを機会にスライディングウォールとエアコンを設置し、学習室にも多目的ホールとしても使えるようにします。現在内装工事中です。
- (2) 先輩の成し遂げた偉業を在校生に伝えます。(400万円)  
念式典を利用して、一人芝居「杉原千畝物語」を上演したり、写真集「杉原千畝-命のビザ」を寄贈します。

- (3) 記念式典(平成29年)の開催(100万円)
- (4) その他の事業(300万円)  
学習室の壁に掛ける「著名な先輩の展示パネル」の作成  
散逸アルバムの収集・複製、募金依頼の郵送費等  
110周年名簿の作成(発行済み)

平成27年6月末現在1100名のご協力で約2,300万円集まりました。しかし、計画実現にはあと1,100万円ほど必要です。同窓会員の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郵便振替 口座番号 00880-4-183489  
払込先 一般財団法人 瑞陵高校瑞陵会基金  
※瑞陵会の活動維持のための賛助会費とは異なります。ご注意ください。

一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金 高額寄付者 (敬称略) ご協力ありがとうございます。

6 山崎 敏郎	12 西牧 正武	18 一ノ瀬 喜之	20 加藤 博	24 本間 政美
7 浅井 宏幸	15 相澤 正己	18 後藤 廣	20 佐喜真 望	28 富屋 誠一郎
8 高島 治巳	16 今枝 政春	20 伊藤 正伸	20 杉田 陽子	
9 福島 左千男	17 金屋 憲二郎	20 大谷 忠久	21 柴田 達男	
10 近藤 昌三	17 金子 美代次	20 小田 博一	22 岡本 信明	

一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金 寄付者 (敬称略)

ご協力ありがとうございます。

Table listing donors and their contribution amounts. Columns include names (e.g., 山口平夫, 中西加寿), amounts (e.g., 3, 4, 5), and other identifiers. The list is organized in vertical columns.

編集後記 //

シリーズ化しつつある部活レポートは、今回はホッケー部にお願ひしました。ラグビー部に関係する部分は、当事者として記憶鮮明です。サラッと書かれています、硬いボールが飛んできたり、こちらがフォーメーションに突っ込んでいったりして、よく採めました。それでも個人的に仲が悪くなったわけでもなく、気軽に執筆をお願いできるのは同窓の仲間だからです。とはいえ、やはりきちんとお礼を申し上げなければなりません。ありがとうございます。

これまで編集担当の個人的な繋がりでも執筆を依頼してきましたが、自発的に申し込みを戴ければたいへんありがたく、よろしくお願ひします。年配の同窓諸姉・諸兄にはご

健康と心穏やかな日々を、若い諸君には益々のご発展を祈念申し上げます。(S. II.)

瑞陵会ホームページのご案内

<http://www.bekkoame.ne.jp/i/zuiryokai/>

会報は瑞陵会のホームページにも掲載しています。今まで郵送でお届けしていた同窓生で、ホームページがあれば郵送不要と思われる方は、編集委員までお知らせください。

shoji.hamajima@gmail.com

瑞陵法曹会有志一同

外堀通り法律事務所

高木 修 (瑞5回)  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-2-7  
丸の内弁護士ビル901号  
TEL.052-201-7656 FAX.052-204-1244

加藤茂法律事務所

加藤 茂 (瑞19回)  
〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞3-8-9  
TEL.052-732-7821 FAX.052-732-7822

大島真人法律事務所

大島 真人 (瑞26回)  
〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-1  
名古屋鴻池ビル9階  
TEL.052-220-2225 FAX.052-220-2228

東海法律事務所

石川 智太郎 (瑞11回)  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-35  
弁護士ビル901・902号  
TEL.052-961-0651 FAX.052-961-0653

中村正典法律事務所

中村 正典 (瑞21回)  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27  
EBSビル2階  
TEL.052-971-7424 FAX.052-971-7425

後藤和男法律事務所

後藤 和男 (瑞24回)  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-20  
ザ・スクエア8階S8号室  
TEL.052-202-0680 FAX.052-203-1417

千種総合法律事務所

塚田 昌夫 (瑞13回)  
〒464-0075 名古屋市中区千種区内山3-18-8  
千種法律ビル2階  
TEL.052-731-0600 FAX.052-731-5340

金山総合法律事務所

渥美 玲子 (瑞22回)  
〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-17  
金山スズキビル8階  
TEL.052-331-9054 FAX.052-331-9060

白井法律事務所

白井 幹裕 (瑞33回)  
〒460-0003 名古屋市中区錦3-1-30  
錦マルエムビル3階  
TEL.052-218-0566 FAX.052-221-5656

弁護士法人 柴田・中川法律特許事務所

柴田 肇 (瑞15回)  
〒440-0814 豊橋市前田町1-2-11  
TEL.0532-53-7087 FAX.0532-54-2106

弁護士法人 岐阜合同法律事務所

安藤 友人 (瑞22回)  
〒500-8812 岐阜市美江寺町1-5  
岐阜北青色会館  
TEL.058-264-3780 FAX.058-264-3784

光が丘法律事務所

佐藤 成俊 (瑞38回)  
〒464-0006 名古屋市中区千種区光が丘1-18-3  
TEL.052-712-3350 FAX.052-712-3352

中部総合法律事務所

長谷川 忠男 (瑞15回)  
〒461-0001 名古屋市中区東区泉2-3-20  
長谷川ビル3階  
TEL.052-931-9192 FAX.052-931-6062

成田龍一法律事務所

成田 龍一 (瑞23回)  
〒460-0003 名古屋市中区錦3-14-14  
夢現錦ビル6階  
TEL.052-973-0531 FAX.052-973-0533

ジェイ・ユー・エヌ服部順法律事務所

服部 順 (瑞38回)  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-25  
清風ビル5階  
TEL.052-962-8511 FAX.052-962-8512

さくら総合法律事務所

加藤 謙一 (瑞19回)  
〒514-0007 三重県津市大谷町21-8  
TEL.059-227-6951 FAX.059-225-5943  
TEL.052-931-9192 FAX.052-931-6062

弁護士法人 名古屋総合法律事務所

浅野 了一 (瑞24回)  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-20-25  
丸の内STビル6階  
TEL.052-231-2601 FAX.052-231-2602

足立法律事務所

中島 朋子 (瑞56回)  
〒441-8021 豊橋市白河町61番地  
ターミナルプラザ801号  
TEL.0532-33-4831 FAX.0532-33-4830